

甲状腺腫瘍の組織型および生物学的特性に関わる分子の網羅的探索

2009年から2019年に甲状腺疾患のために手術治療を受けた患者さん

研究協力のお願い

日本医科大学 統御機構診断病理学教室では「甲状腺腫瘍の組織型および生物学的特性に関わる分子の網羅的探索」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2009年1月1日より2019年3月31日までに日本医科大学付属病院にて甲状腺の切除術を受けられた患者さんの病理標本を用いて、甲状腺腫瘍の診断や予後の予測に役立つ分子マーカーを検討する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：甲状腺腫瘍の組織型および生物学的特性に関わる分子の網羅的探索

研究期間：研究実施許可日～2024年12月31日

研究責任者：日本医科大学 統御機構診断病理学 大橋 隆治

(2) 研究の意義、目的について

甲状腺腫瘍の病理組織学的特徴や蛋白などの分子を調べ、甲状腺腫瘍のよりよい診断法や予後の予測に役立つ分子を明らかにすることを目的とします。この研究を行うことで、今後増えていく可能性のある甲状腺癌のよりよい診断法や治療法への応用が期待されます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2009年1月1日より2019年3月31日までに日本医科大学付属病院にて、甲状腺の切除術を受けられた患者さんを対象とさせていただきます。患者さんの年齢、性別や既往歴などの臨床情報、腫瘍の病理組織像や蛋白などを解析します。既に病院に保管されている手術の標本を用いた研究ですので、患者さんから新たに組織を採取することや、薬物を投与することはありません。この研究に参加されないと申し出られた場合や、途中で辞退を申し出られた場合でも、今後の治療に一切の影響はありません。

試料：手術時に切除した病理検体

情報：年齢、性別、採血データ、画像所見、等

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学統御機構診断病理学

研究全体の責任者：日本医科大学統御機構診断病理学・大学院教授 大橋 隆治

その他の共同研究機関：がん研有明病院・頭頸科および病理研部

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 統御機構診断病理学 呉 壮香（くれ しょうこ）

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：5251

メールアドレス：skure@nms.ac.jp

